



ほしおき 情報コーナー だより

第78号
2020.2.15発行

〒006-0852 札幌市手稲区星置 2条 3丁目 14-1
星置まちづくりセンター
TEL 695-3222 FAX 695-3223



手稲区30周年
ロゴマーク



まちの灯り が開催されました



1月23日(木)、24日(金)の二日間、JR星置駅北口前(手稲区星置1条3丁目)を、ろうそくの炎で彩る「まちの灯り(あかり)」が行われ、手作りのキャンドル200個が、会場を幻想的な明かりで包みました。このイベントは、駅利用者にも喜んでもらうとともに、星置駅前商店街は楽しい場所だと知ってもらうことで、地域を活性化したいと星置駅前商店街振興組合(有路孝雄(ありじ・たかお)理事長)が実施したもので、今年で13回目となります。

キャンドルが灯されると歩いている人も足を止め「きれいだね」などと言いながらキャンドルを一つ一つじっくり眺めたり、写真を撮ったりと思い思いに楽しんでいました。

雪不足のため、恒例となった手稲区マスコットキャラクター「ていぬ」の雪像も危ぶまれましたが、開催直前に降った雪のおかげで「チコちゃん」と一体となった滑り台も作られ、記念撮影をする人や、子どもらが滑り台を楽しむ姿も見られました。



人気者の2シヨット



駅前に広がる幻想的風景



ぐんぺ大会 が開催されました



1月26日(日)午後1時から、陸のカーリングともいわれる「ペタンク」をアレンジした「第8回星置地区ぐんぺ大会」が、星置地区センター体育室で開催されました。

このイベントは、軍手の中に重りとして200グラムの砂を入れて作った「ぐんていぬ」を的に目掛けて交互に投げ合い、よりの近いチームが得点するというルールで、小さな子どもからお年寄りまで簡単に楽しめるゲームです。

当日は、地域住民ら約150人とボランティアの北海道あすかぜ高校の生徒さんが参加し、白熱した戦いを繰り広げました。1チーム6人編成で3回戦9ゲームずつ対戦し、26チームが競いました。

投げた「ぐんていぬ」が的に近づく、参加者からは「おー!」「凄い!」と歓声が上がり、大逆転となるミラクルショットも飛び出して、一投ごとに変化する状況に競技者は一喜一憂しながらゲームを楽しみました。



開催前の雰囲気からいざ、真剣勝負!

星置地区各種団体新年交流会

1月10日（金）、星置地区連合町内会連絡協議会の主催による「星置地区各種団体新年交流会」が星置会館（星置3条9丁目）で開催され、来賓の田中手稲区長をはじめ総勢50名が出席しました。

今年の新年交流会では、星置連合町内会・夢トピア町内会連合会と、手稲区役所・手稲消防署・地域の各教育機関（小・中・高・養護・幼稚園）や社会福祉協議会、民児協、商店街振興組合、各種地域団体、事業所など星置地区を支える様々な団体が一堂に会して親睦・交流を深めました。

会場では、主催者挨拶、来賓挨拶につづき恒例となった新春の舞、嘉門信彩（かもんのぶさえ）会主による「槍さび・黒田節入り」のご披露があり、新年にふさわしい華やかさと和やかさに包まれたひとときになりました。



新年交流もちつき大会

1月9日（木）午前10時から星置地区福祉のまち推進センター主催による新年交流「もちつき大会」を開催しました。

大きな石臼と杵でついた餅を“みたらし”と“きなこ”でおいしくいただきました。

つくたての餅は温かで柔らかく、何回もおかわりをする人もいました。

小さなお子さんも大人の手を借りて大きな杵で餅つきの体験をし、喜んでいる姿が印象的でした。

会場では、なつかしい“めんこ（パッチ）”や“こま回し”“けん玉”“福笑い”など、昔ながらの遊びも用意し、大人が昔取った杵柄よろしく、遊び方やこまの回し方などを教えている場面もあり、老若男女が楽しいひと時を過ごしました。



歴史講演会のご案内～手稲鉦山を語る～

- ・日 時 令和2年3月7日（土）13：00～16：30
- ・会 場 夢トピアコスモプラザホール（星置1条1丁目）
- ・参加費 無料
- ・参加方法 直接会場にお越しください（申し込み不要）
- 【講演等】
 - ①「手稲鉦山盛衰物語」（村元健治 手稲郷土史研究会理事）
 - ②「手稲鉦山面白エピソード」（一ノ宮博昭 手稲郷土史研究会相談役）
 - ③「手稲鉦山」長屋住宅に生まれ育って～鉦山を巡る思い出～
（三国 勲 手稲郷土史研究会元理事）
- 【写真展】 「鉦山の様子を伝える様々な写真の展示」



主 催 「夢のまちづくり星置・山口の会」
お問合せ 星置地域の史跡・文化遺産保存委員会： 村元 TEL 694-5907



02-Q01-19-870
31-2-648